



発行日：令和6年2月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第2回 中部のいい川ワークショップ in 矢作川流域圏に参加しました！

昨年度から始まった中部のいい川ワークショップが矢作川流域にて開催されました。矢作川流域圏だけでなく、東京都や山梨県で活躍する方にもご参加いただき、活動紹介や流域のあり方について議論を行いました。矢作川流域圏懇談会では活動発表を行い、多くの方に懇談会の取り組みを知っていただきました。



日程：令和6年1月20日（土）
場所：愛知県豊田市 豊田市能楽堂
主催：中部流域連携ネットワーク

◆イベントの目的と内容

1. 目的とイベントの内容

■目的

これからの流域づくりにつながる活動の共有と話題提供を行い、私たちの暮らしや産業にとって「流域」とはどんな意味があるのか、そこにそれぞれがどのようにかかわっていくのかを中部流域の若きリーダーたちと議論してもらうことで、持続可能な社会につながる川づくりへの参入を促すことを目的に開催されました。

■プログラム

- ◇開会、趣旨説明
- ◇活動発表（5分間の発表と質疑応答）
- ◇パネルディスカッション第1部 「流域のあり方について」
- ◇清須越し狂言「轍（わだち）」
- ◇パネルディスカッション第2部 「中部での流域連携のこれから」



中部内外の様々な取り組みを知ることが出来ました。

2. 各団体の発表内容

活動発表には9団体が参加いたしました！

- 矢作川流域圏懇談会の紹介（矢作川流域懇談会）
- 市民など多様なセクターと公共をつなぐために（中部流域連携ネットワーク）
- 根羽村・林業のミライ合宿（矢作川上流域）
- 答志島合宿（伊勢湾流域圏）
- 川であそび、川にまなび、川と暮らす（ONERIVER）
- 鈴鹿川探検隊～流域をつなぎ、世代をつなぐ取組みの広がり～（鈴鹿川流域）
- 2024いい川・いい川づくりWS in中部（一般社団法人 ClearWaterProject）
- 多摩川流域懇談会の活動紹介（多摩川流域懇談会）
- 山梨県の流域治水 内陸での取り組み：小流域アクションプラン（桂川・相模川流域協議会）

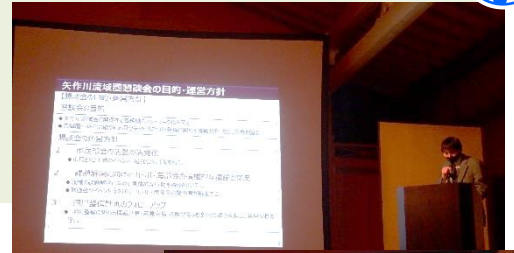


3. 矢作川流域圏懇談会の発表



矢作川流域圏懇談会も団体発表に参加いたしました！

事務局から矢作川流域圏懇談会の紹介を行い、矢作川の課題解決に向けた取り組みの歴史や、会の目指すところ、今年度の活動目標等を発表しました。



4. 清須越し狂言「轍（わだち）」



能・狂言を通して自然や文化を受け継いでいく活動を行っている、やまかわさとみ様がプロデュースした狂言「轍」が行われました。

1610年、水害に弱かった清須（清州）から名古屋へ遷府の号令が下り、加藤清正・福島正則をはじめとする豊臣方の20大名が、本音と希望を胸に郷土に川と都市を創造し、7万人が庄内川を渡ったてんやわんやの大引越し「清須越し」、そこに巻き込まれた太郎冠者の迫力ある演目を披露いただきました。



5. パネルディスカッション



パネルディスカッションでは、流域に関する様々な議論が交わされ、今後の矢作川流域圏懇談会の活動のヒントなどを学びました。

■第1部 流域のあり方について（・：主な意見・質問 ▶：回答）

- 流域治水を進めるうえで巻き込んでいくべき組織やキーマンはどんなものが考えられるか
 - ▶ 河川管理者だけでは限界があり、上流側の都道府県や市町村などの自治体を巻き込んでいかないと実現できない。県の部署間をまたいだランドマネジメントが重要だと考える。また一般市民を巻き込んで「みんなで」取り組んでいくことがミソだと思う。
- 一般市民が流域治水に取り組んでもらうにはどうすれば良いか
 - ▶ 雨庭建築は誰もが取り組み、かつガーデニングとしての美しさがある。まちづくりに上手く組み込む必要があるだろう。住民の暮らし方で流域のあり方が大きく変わると思う。

■第2部 中部での流域連携のこれから（・：主な意見・質問 ▶：回答）

- 多様な人たちと連携していくうえで、どうすれば新しい人をうまく巻き込んでいけるか
 - ▶ 「子どもが生き生き暮らせるまちにしたい」、「楽しい川にしたい」という大きな目標が同じでも、人によって方法や意見は異なると思う。その時上手く折り合いをつけて目標に向かっていく、それぞれのやり方を尊重して、ある程度自由にできる余白と受け入れる素地や居心地の良さが重要だと感じる。
 - ▶ 「楽しい」ことが活動の原動力になっている。楽しいから自然と仲間を引き込んで組織が広がっていく。
 - ▶ 行政に対しては、はじめから頼り切りではなく、民間側からプロジェクトを起こして相談していくと巻き込みやすいと思う。
 - ▶ 休日の市民活動として参加するのか、仕事として活動するにしてもプライベートとの境目はどうするのか、自主的に判断できるプラットフォームだと色々な生活スタイルの人がつながっていけると思う。



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、建設専門官 宮本、技官 松田
TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、豊橋河川事務所流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までご連絡ください。

